

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	鳥栖市立基里中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 本校の特長である「主体的な学び」「主体的な活動」「小中一貫教育」「開かれた学校づくり」について、今年度も継続して実践する。 夢・目標を持つための取り組み(進路学習)や、教員の働き方改革への取り組みを継続し、実践する。
------------------	---

2 学校教育目標	「主体的に考え行動することができる 生徒の育成」
----------	--------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小中一貫教育の充実 (2) 教科「日本語」の充実 (3) 開発的生徒指導の推進 (4) コミュニティ・スクールの充実
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒が主体的に学び、活動するための教育実践	○E19.F26集団において、全職員が生徒の主体的に考え行動になるように、「出番・役割・承認」のサイクルで支援していく。	・集団づくりに関する研究や校内研修を行う。 ・生徒の実態調査を行う。							研究主任 全教職員
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳授業に対して、肯定的な生徒の割合を70%以上にする。 ○全職員が人権・同和教育の重要性を認識するため、1人1回以上研修会に参加する。	・道徳授業の基礎的な職員研修を実施し、授業作りのスキルアップと意欲の向上を図る。							道徳主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○月1回、生活アンケートを実施する。 ○QUアンケートの「ほかにかされた」の項目の否定的意見が80%以上。	・「いじめ・いのちを考える日」に「生活アンケート」を行い、生徒の実態を把握し、いじめの早期発見・早期解決につなげる。							生徒指導担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒60%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒65%以上	・朝の会や帰りの会、通信等を活用して、生徒の善行を紹介する。 ・1、2学期に教育相談を実施する。 ・高校調べや職業体験等を生徒の発達段階に応じて行う。							進路指導担当
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	○「早寝・早起きを心がけているか」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。 ○「毎日朝食をとっている」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。	・定期的に、アンケートを実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」の実態把握し、啓発指導を行う。							教育相談担当
	④「安全に関する資質・能力の育成」	○児童生徒の加害交通事故を0(ゼロ)にする。 ○防災に関する取組を年3回以上行う。	・1学期に交通教室と自転車点検を行い、生徒の意識を高める。 ・防犯に関する講演会に生徒だけでなく保護者の方も招待して行う。							安全担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・OJTの日常化と連携による校務の役割分担を行い、時間外勤務を削減する。 ・定時退勤日を実態に即した日に設ける。 ・部活動の計画的な運営と佐賀県、鳥栖市で示された休業日を徹底する。							教頭
●特別支援教育の充実	○インクルーシブ教育の推進	○すべての教室でユニバーサルデザインを意識した環境づくりを行う。 ○特別支援学級の保護者に対して、学期に1度は面談を行う。	・板書や掲示物等を各クラスの生徒の特性に合わせて工夫をする。 ・特別支援学級の保護者と、定期的に面談を実施し、情報を共有する。							特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・授業参観日に、地域の文化や人材等を生かした体験学習を積極的に行う。 ・小中学校での乗り入れ授業や交流活動を積極的に行う。							日本語コーディネーター 教頭 学年主任
○開かれた学校づくり	○◎地域と連携した学校づくりの推進	○保護者、地域の方の学校行事への参加者増を目指す。 ○地域の人材を生かした授業や講演会を2回以上設定する。	・各種たよりや通信、HP、メール等を活用し、行事等の情報の発信を行う。 ・コミュニティ・スクールの運営を通し各種団体、地域等に協力を以てし、教育活動の活性化を図る。							教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---